

「地域を愛し、夢に向かって たくましく生きる子どもの育成」

いのちを見つめる日 講話～生まれた訳 生きている訳～

6月1日に、命についての話をしました。今回は、さだまささんの歌（いのちの理由）から、命について考えさせました。

私が生まれてきた訳は 父と母とに出会ったため	私が生まれてきた訳は きょうだいたちに出会ったため
私が生まれてきた訳は 友達みんなに出会ったため	私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会ったため
春来れば 花自ずから咲くように	秋くれば 葉は自ずから散るように
しあわせになるために 喜びの実が実るように	悲しみの花の後からは 喜びの実が実るように
夜が来て 闇自ずから染みるように	朝が来て 光自ずから照らすように
しあわせになるために 誰もが生きているんだよ	悲しみの海の向こうから 喜びが満ちて来るように
私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会ったため	私が生まれてきた訳は 愛しいあなたを護るため

講話の後、それぞれの学年で「命」について考えました。6年生の振り返りを読み、そのの中には、

- ・生まれてきてよかった
- ・家族を大切にする
- ・友達を大切にする
- ・人の嫌がることをしない
- ・悪いことをしない
- ・これからも人にやさしくする
- ・親から授かった命を最後まで大切にする
- ・助けられたり、助けたりすることも大切

などという感想がありました。

楠栖小全児童が、静かに話や歌を聴いていました。いのちを見つめる日になりました。

命の学習～プール開き～

先々週、4年生以上の児童でプール清掃を行い、先週はプール開きを実施しました。両日も天候に恵まれました。楽しい水泳学習（水遊び）ですが、危険と隣り合わせということも忘れてはいけません。今年度も、プールでの授業は、職員二人体制で行います。

